

3 事業の点検・評価

分野1 生涯学習の充実

施策			
(1) 広がりと深まりのある生涯学習の推進			
項目			
①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
生涯学習の普及啓発 【生涯学習課】	市民が積極的に生涯学習に取り組めるよう、情報収集・提供し普及啓発し実践につなげる	[継続] ・ 広報にのへやホームページを活用し情報提供を継続実施 ・ 生活に必要な知識や技能の習得、教養を身につけたりする学習機会の提供 高齢者のための講演会 130人 パソコン教室エクセル講座 延べ32人	◎評価 【 B 】 広報にのへやホームページを活用した情報提供を継続的に行うとともに、講座等の開催により実践的な学びを深めることにつながった。 【今後の方向性等】 情報提供の機会としてホームページやラジオFMの活用を推進する。内容の充実を図り市民の積極的な意欲の醸成に努める。
項目			
②市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
放送大学岩手学習センター二戸校の周知・環境整備 【生涯学習課】	放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄ることのできる学習拠点として活用されることを目指す	[継続] ・ 広報にのへによる二戸校利用についての周知・啓発、入学生募集や大学説明会の案内各2回。入学生募集についてホームページへ掲載 ・ 配架科目における外国語教科の充実 【数値目標】 二戸校利用者数(人) H28：延べ60 H32：延べ80	◎評価 【 A 】 延べ利用者数は昨年度より減少したものの、数値目標を達成することができた。 【今後の方向性等】 学び直しへの意識啓発、周知・啓発を継続し認知度の向上に努めるとともに、多様な科目を配架し利用者の関心を高めるよう努める。 【数値目標の実績】 二戸校利用者数(人) H29：延べ82 (対H28目標137%) (対H32目標103%)
項目			
③学習成果の活用			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
ホームページ等による指導者情報の提供 【生涯学習課】	市民の社会貢献意欲を後押しするため、社会教育活動で学んだ成果や、自らが社会で学んできた知識・経験を生かすことができる仕組みを構築する	[継続] ・ 広報やホームページ等で社会教育活動団体等の紹介を行った。	◎評価 【 C 】 社会教育団体の活動紹介や成果の公開は行ったが、指導者情報に類する情報の提供や仕組みづくりに至らなかった。 【今後の方向性等】 社会教育団体等の活動と市民とのニーズをつなぐ仕組みづくりを目指す。

分野2 学校教育の充実

施策 (1) 学力向上対策の推進			
項目 ①学力と創造性を伸ばす教育の推進			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学力向上推進事業 (東京学芸大学連携事業を含む)	授業力向上のための教員研修と学力向上のための授業実践の充実に努め、児童生徒の学力向上を図る	<p>1 派遣研修 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上先進地視察研修(小学校教諭8人、中学校教諭4人派遣) ・理科長期研修(中学校教諭1人派遣) ・短期研修(小学校教諭2人、中学校教諭1人派遣) <p>2 授業力向上研修 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科授業力向上研修(7月7日石切所小学校第6学年)参加者37人 ・数学科授業力向上研修(8月25日福岡中学校第1学年)参加者15人 ・道徳授業パワーアップセミナー(11月2日中央小学校第6学年)参加者22人 <p>3 学力向上推進実践校指定[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石切所小学校へ学習支援員を1名配置し、主に算数科の授業で複数による指導を展開した。 <p>4 学力向上推進監訪問・学力向上ヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進監訪問は6月と11月の年2回実施 [継続] ・学力向上ヒアリングは平成30年1月15日～19日に実施 [継続] <p>5 調査・研究「小中高連携による英語授業づくり」[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語の教科化へ向けて、小中高一貫したCAN-DOリストの作成と各校種の授業参観を通して、教員の英語科の授業力の向上に取り組んだ。 <p>6 公開講座[新規]</p> <p>教員の研修ニーズに応えるために</p> <p>講座1「小学校国語科授業づくり」</p> <p>講座2「複式における算数科授業展開」</p> <p>講座3「WISCⅢ検査法講習」</p> <p>講座4「WISCⅢ検査結果分析法」の4講座を開設した。</p> <p>【数値目標】</p> <p>1 全国学調算数・数学B正答率</p> <p>H28 小6：100 H32 小6：101</p> <p>中3：100 中3：101</p> <p>2 県学調国語正答率</p> <p>H28 小5：100 H32 小5：101</p> <p>中1：100 中1：101</p> <p>中2：100 中2：101</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>1 算数・数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数はA問題B問題ともに全国を上回った。また、県学調でも県平均を上回っており、全国や県以上の結果を維持している。 ・数学は県学調で県平均を上回る状況が続いている。また、全国学調のB問題で初めて全国を上回ることができた。無解答の割合も大きく低下した。授業改善に向けた取組の成果がここにきてようやく表れ始めている。 <p>2 国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の平均正答率は、全国学調ではA問題B問題ともに全国を上回った。県学調ではわずかに県を下回ったものの、概ね県と同レベルの結果であった。 ・中学校も全国学調ではA問題B問題ともに全国を上回り、県学調ではわずかに県を下回った。しかし、新入生学調(中1)は大きく県を下回る結果となった。 <p>3 他教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学調では概ね県平均と同じ結果となった。 <p>【今後の方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の学力の状態を維持するために、これまでの取組を継続する。 ・中学1年生を対象に4月に実施する新入生学調の結果が芳しくない。連続性を持たせた指導、これまでに身に付けてきた力をうまく引き出す指導等を展開するために、小中連携を中心に据えた授業改善の取組を展開していく。 <p>【数値目標の実績】</p> <p>1 全国学調算数・数学B正答率</p> <p>H29 小6：102 (対H28目標 102%) (対H32目標 101%)</p> <p>中3：102 (対H28目標 102%) (対H32目標 101%)</p> <p>2 県学調国語正答率</p> <p>H29 小5：98 (対H28目標 98%) (対H32目標 97%)</p> <p>中1：94 (対H28目標 94%) (対H32目標 93%)</p> <p>中2：98 (対H28目標 98%) (対H32目標 97%)</p>
【教育企画課】			

施策 (2) 豊かな心を育む教育の充実			
項目 ①豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
道徳教育の充実 【教育企画課】	道徳教育について教員の指導力の向上を図り、他人を思いやり良好な人間関係を築くことができる子どもを育てる	[継続] ・校内研究会の助言による授業改善の支援 ・道徳授業パワーアップセミナー ・道徳講演会(1月11日福岡中学校) 参加者161人	◎評価 【 A 】 派遣依頼のあった学校の校内研究会での授業改善の助言と、道徳授業パワーアップセミナーにより指導力向上に努めた。道徳講演会では道徳の評価の実際について理解を深めた。 [今後の方向性等] 教科として実施される小学校の道徳について各校の授業改善の取組を支援していく。
教育相談の充実 【教育企画課】	教育相談・支援体制を充実し、子どもたちが安心して学習し、学校生活を送ることができることを目指す	[継続] ・教育相談員学校訪問(定期)2回 ・相談件数 32件 ・各校に適応指導教室のチラシを配布し、適応指導教室「おあしす」の周知を図った。	◎評価 【 A 】 欠席がちな児童生徒やその担任、保護者からの相談に対応したことで、不登校が長期化するのを防ぐことができた。 [今後の方向性等] 学校との連携を図り、情報共有に努め、教育相談を通して、不適応児童生徒の不安や悩みを解消していく。
項目 ②生徒指導の充実			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
不登校児童生徒へのきめ細やかな指導 【教育企画課】	一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の充実を図る	[継続] ・子育て支援課や児童相談所との情報共有 ・不適応状況報告をもとにした学校の対応への指導・助言 ・不登校児童生徒を抱える学校への訪問 ・適応指導教室「おあしす」での支援(3人通室) ・不登校児童生徒数 H29 小:5人、中:15人 【数値目標】 不登校児童生徒の割合(%) 小 H28:0.26 H32:0.19 中 H28:2.20 H32:1.80	◎評価 【 C 】 適応指導教室での学習支援により、児童生徒の学習の遅れに対する不安や、児童生徒が抱える課題に応じた対応を図ることができた。 また、各学校で行われる適応支援会議において、他市町村の不登校対応を参考にしながら、各学校の取組の在り方について助言を行うことができた。 [今後の方向性等] 引き続き学校サポートチームを適応支援会議に派遣し、児童生徒のわずかな変化を見逃さない体制づくりを支援していく。 【数値目標の実績】 不登校児童生徒の割合(%) 小 H29:0.43(対H28目標 35%) (対H32目標 26%) 中 H29:2.15(対H28目標 102%) (対H32目標 81%)
いじめ問題に対する確実な取組 【教育企画課】	未然防止・早期発見、早期の組織的な対応の取組を継続する	[継続] ・学校生活アンケートの実施(6月) ・校長会議での早期対応の助言 ・教員やスクールカウンセラー等による各学期1回以上の教育相談の実施	◎評価 【 A 】 市内の児童生徒のいじめの実態を把握することができた。各学校でいじめ防止基本方針の改定を行うことで、「いじめ」の定義や対応についての理解が浸透することにつながった。 [今後の方向性等] いじめの認知や学校の対応についての校内研修を実施することで、学校の対応力を高めていく。
各関係機関との情報共有体制の構築及び連携の充実 【教育企画課】	関係機関と連携し、児童生徒や家庭、学校への支援の充実をめぐる	[継続] ・いじめ防止対策委員会の実施(11月)	◎評価 【 A 】 「学校生活アンケート」結果を基に、市内の児童生徒のいじめの状況を関係機関で共有するとともに、重大事態発生時の対応を確認できた。 [今後の方向性等] 関係機関と連携を図りながら、いじめの早期発見や早期対応に努めていく。

③郷土教育の推進				
項目	事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
	郷土教育の推進 【教育企画課】	二戸市の先人、自然、歴史・文化等の学習を通し、郷土に対する理解を深め、愛着心や誇りを育てるとともに、次代を担う人材の育成を目指す	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「二戸市の先人たち」の活用 副読本「二戸市の先人たち」の6年生への配付と活用事例の紹介 地域学習の推進 地域素材を活用した教科学習の推進と、それに関わる情報提供 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>地域素材を活用した実践について実際の授業を見て学ぶ場を各校に提供することができた。更に各校での取組の充実を進めたい。</p> <p>[今後の方向性等] 副読本「二戸市の先人」については、6年生全員が一度は内容全てを読んだことがある、という状況にすることから取組を始める。</p>
	小学校副読本の充実及び活用 【教育企画課】		<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 副読本「わたしたちの二戸市」の改訂資料を活用する力の育成と地域への関心を高めるために、掲載している各資料のデータおよび写真を最新のものへ更新した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>資料の更新により「児童の意欲が増した」「変化の様子が詳しく分かる」等の評価を得ることができた。活用を更に進めていきたい。</p> <p>[今後の方向性等] 32年度の社会科副読本「わたしたちの二戸市」全面改定に向けての準備を進める。授業での活用を促すために、副読本活用事例の紹介を行う。</p>
④社会の変化に対応した多様な教育の推進				
項目	事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
	国際理解教育の推進 【教育企画課】	異なる文化や伝統を理解し、国際社会の発展に貢献できる児童生徒を育成する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高生海外派遣研修事業 中学生10人と今回から高校生4人を加えた14人を海外に派遣し、国際感覚豊かな人材の育成を図った。 参加者：中学2年生10人、高校生4人 日程：30.1.4～11 場所：イギリス・グラスゴー 中学生異文化交流研修事業 中学生と岩手大学の外国人留学生との交流を通じて、異文化の理解を深めた。 参加者：中学生19人 日程：H29.6.24～25 場所：国立岩手県青少年交流の家 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>イギリスでのホームステイや愛橋博士の功績についての学び、そして岩手大学の留学生との交流などを予定どおり実施し、グローバルな視野を身に付ける機会を持たせることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 感想やアンケート結果を踏まえ、研修内容の充実に生かしていく。</p>
	キャリア教育の推進 【教育企画課】	子ども一人ひとりが主体的に自己の進路を選択、決定できる能力やしっかりとした勤労観・職業観を身に付け、社会の一員として自立する力を養う	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校のキャリア教育全体計画の提出と全体計画の見直しの支援 体験的な学習の充実に向けた支援 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>各校のキャリア教育の実施状況を把握し、事前事後の研修の充実を図るよう助言した。全ての中学校で職場体験2日以上、事後指導を5時間以上実施するなど、体験的な学習の質的向上を図ることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も、中学校の職場体験2日以上と、事後指導5時間以上の確実な実施に向けた働きかけに努める。</p>

施策 (3) 健康・安全教育の推進			
項目 ①健康・安全教育の充実			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
学校保健の推進 【教育企画課】	児童生徒が健康で明るい学校生活を送れるよう、全ての児童生徒・保護者が、健康や食事、学校保健衛生の改善向上に関心を持ち、健康的な生活習慣や運動習慣を身に付ける	[継続] ・ 疾病の早期発見、早期治療のため、内科検診、歯科検診、尿検査等を実施した。 ・ 学校環境衛生検査を実施し、学校環境の把握と環境の改善・整備に努めた。 ・ 学校保健会等への補助を実施し、学校と医療機関、そして行政が連携して健康に関する指導方法の協議や研究大会を開催した。 ・ 肥満対策については、二戸地区学校医連絡協議会において、医療機関・学校・各教育委員会、保健師、栄養士により構成する小委員会を設け、分析とその対応について二戸地区全体で研究を行った。 【数値目標】 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 H28 : 11.0 H32 : 10.5 中1 H28 : 17.6 H32 : 15.4	◎評価 【 B 】 医療機関等と連携し、地域全体で児童生徒の健康を維持・増進するための取組を予定どおり実施した。 また肥満対策については、学校、医療機関、保護者等が一体となり対策を推進し、肥満傾向児童生徒の割合が、中学校1年生では約3.5ポイント減少し数値目標をさらに達成することができたが、小学校4年生では前年より増加しており、数値目標を達成することができなかった。 これらを総合的に判断すると、概ね達成したと認められる。 【今後の方向性等】 学校と医療機関等との連携を密にして、地域全体で健康教育の推進に努める。 肥満対策は、学校、医療機関、保護者等が、改善に向けて取り組むことが必要であることから、学校における児童生徒への教育、各種検診を進めるほか、研究大会などの場を通じて、保護者への健康教育を推進していく。 【数値目標の実績】 肥満傾向児童生徒の割合(%) 小4 H29 : 13.6 (対H28目標 76%) (対H32目標 71%) 中1 H29 : 10.9 (対H28目標 138%) (対H32目標 129%)
安全教育の推進 【教育企画課】	児童生徒の安全安心な学校生活の確保と安全教育の推進	[継続] ・ 各学校で交通安全教室を開催し、児童生徒に対して交通ルールや自転車の安全運転の指導を行った。 ・ スクールガードによる地域の見守りを実施した。 ・ 二戸市通学路交通安全プログラムについて、対策箇所の解消にむけ点検、確認を行った。また、保護者に満足度調査を実施し、対策箇所に関して実態を把握した。	◎評価 【 A 】 児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう、地域と一体となった取組を予定どおり実施した。 通学路の安全対策は、関係機関と連携し危険箇所の解消に向けて、順次取組を進めている。 【今後の方向性等】 継続して取り組むことで、児童生徒に交通安全についての意識の定着を促す。
項目 ②学校給食の充実			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
栄養教諭等による食に関する指導 【学校給食センター】	食に関する指導のさらなる充実を図り、望ましい食習慣と健全で豊かな食生活を実践する力を習得させる	[継続] ・ 栄養教諭による食指導の授業を33回、ふれあい給食及び交流給食、面談などの食に関する指導を15回実施した。 ・ 各家庭に配布する「こんだてのお知らせ」及び「二戸食(にこしょく)だより」を12回発行し、正しい食習慣や地産地消の話題を特集した。 ・ 学級担任指導用資料「今月の献立表」を12回発行し、正しい配膳の仕方とともに食に関する様々な話題を取り上げた。	◎評価 【 A 】 前年より10回多く実施した食に関する授業では、教材の工夫や体験的な方法などに取り組んだ結果、学校等の事後アンケートでは、食べ残しが減った、食習慣に改善が見られたなど、高い評価を得ることができた。 【今後の方向性等】 いっそうの食に関する指導の充実を図るとともに、「二戸(にこ)食だより」や「こんだてのおしらせ」において、生産者の紹介など様々な話題を取り上げ、学校や家庭における食に関する正しい知識・習慣の普及を図る。

施策 (4) 幼児教育・特別支援教育等の充実			
項目		①幼児教育の支援と連携	
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
幼児教育への支援 【教育企画課】	関係部局との連携を図り、幼児及びその保護者に対する相談や支援を充実する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 5歳児発達相談への職員派遣 5歳児発達相談へ毎回職員を派遣し、保護者向けの幼児教育に関する講座を担当した。 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>職員の講話により、子どもへの関わり方についての理解が深まっただけでなく、保護者としての自覚を促すことにもつながった。一方、5歳児発達相談以外で支援や働きかけを行うことができなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 認定こども園等で開催される保護者学習会等への講師派遣を行う。</p>
幼保小連携の推進 【教育企画課】	小学校生活へ円滑に適應できるよう、情報共有と相互理解が図られる体制を構築する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼保小連携推進会議の開催 幼保小連携の在り方についての協議と交流活動推進実践校(中央小)の指定、推進実践校の活動の周知を行った。 幼保小連携研修会の開催 市内の小学校と認定こども園等から各1人参加し、園と学校の学びの進め方の違いについての研修を行った。 幼児連絡表の活用 幼児連絡表を就学時検診に活用した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>研修会で認定こども園等と学校との学びの進め方の違いを取り上げ、協議したことで、園で身に付けた力を効果的に引き出す指導の在り方について理解を深めることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 実際の授業や活動場面の参観を通して「学びの進め方の違い」についての理解を更に深めることで、スタートカリキュラムの編成につなげる。</p>
項目		②特別支援教育の充実	
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
特別支援教育の充実 【教育企画課】	児童生徒の状況に応じた学習環境の整備やきめ細やかな支援の在り方の検討を通して、支援の充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育支援委員会の開催 特別な支援を要する児童生徒一人ひとりについて、望ましい学習環境や支援のあり方を検討するために年3回開催した。(対象者119人) 個別支援ファイルの作成と活用 特別な支援を要する就学予定児、児童生徒を対象に、個別支援ファイルを作成し、支援計画の立案や引継ぎ資料として活用を行った。 専門委員の認定こども園等・学校への派遣 教育支援委員会の専門委員を要請のあった認定こども園等や学校に派遣し、必要な支援等についてのアドバイスを行った。(4園7小学校へ派遣) 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>就学予定児に対して、関係機関や専門委員との連携により、早い時期からの相談を実施したことで、望ましい就学先を決定することができた。 個別支援ファイルを活用しながら進学先等に対しての引継ぎを行ったことで、望ましい対応の継続につながった。 専門委員のアドバイスによって、認定こども園等や学校での支援が充実した。</p> <p>[今後の方向性等] 児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な支援を実施するためにこれまでの取組を継続する。</p>
特別支援教育支援員の配置 【教育企画課】	特別な支援を要する児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を配置し、支援の充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の学校への配置 特別支援教育支援員14人を、小学校5校、中学校3校に配置し、特別な支援を要する児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>特別な支援を要する児童生徒への支援の充実だけでなく、学級全体の円滑な運営にも貢献することができた。</p> <p>[今後の方向性等] 適切な支援の実施と円滑な学級運営のためにも、これまでの取組の継続と適切な配置に取り組む。</p>

分野2 学校教育の充実

事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
特別支援学校開設の要望 【教育企画課】	望ましい教育環境を整えるために、小中高一貫の独立した支援学校の設置を目指す	[継続] ・特別支援学校設置の要望 県知事及び県教育委員会に対して、分教室の現状を基にしながら、独立した支援学校の設置を要望した。 (分教室在籍児童生徒数 小学部30人、中学部4人、高等部14人)	◎評価 【 B 】 県に対して独立校の必要性を訴え、一定の理解を得ることができた。 [今後の方向性等] 引き続き県に対して独立校の設置を要望していく。
項目	③高等学校教育への要請		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
高等学校教育の充実と環境整備の要請 【教育企画課】	中学校を卒業した児童生徒が能力や個性を伸ばせるよう、高等学校教育の充実と環境整備を推進する	[継続] ・生徒数の減少に伴い、県立高校の再編が進められているが、生徒の多様化する希望へ応えられるよう、高等学校教育の充実と環境整備について、県教育委員会に要請した。	◎評価 【 B 】 高等学校の維持と充実につながるよう県に要請した。 [今後の方向性等] 県などの関係当局へ継続的に働きかけていく。

分野2 学校教育の充実

施策	(5) 教育環境の整備・充実		
項目	①学習環境の充実		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
就学援助 【教育企画課】	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費等の各種経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、教育の機会均等を確保する	[継続] ・要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費の一部を援助した。 ・年間を通して申請を受け、必要ときに援助を受けられる環境づくりに努めた。	◎評価 【 A 】 援助が必要と認められる児童生徒の保護者に対して、適切に援助を行った。 また、29年度より新たに、30年度新入学児童生徒への学用品費の入学前支給を行うことができた。 [今後の方向性等] 30年度から給食費が振替支出処理になるため、支払時期を変更することに留意し事業を進めていく。
育英資金貸与事業 【教育企画課】	経済的理由により修学が困難な者に対して、修学の機会を確保し、人材を育成する	[継続] ・高校等12人、専門学校等1人、大学等52人、計65人に貸与した。 (うち、29年度新規貸与生は高校等5人、大学等20人の計25人) ・貸付返還金の収納率は前年度比1.38ポイント減の76.77%であった。	◎評価 【 B 】 貸与希望者は減少傾向にあるが、貸与事業は円滑に実施した。 また、29年度より貸与金額の見直しと定住化の促進に係る返還の免除等を行い、より充実した事業内容に改めた。 貸付返還金の収納率は、前年度比で減少したが、総合的に判断すると、概ね達成したと認められる。 [今後の方向性等] 貸与希望者に対する円滑な貸与の実施を行うとともに、返還金の滞納者に対し納付に向けた働きかけを行っていく。
遠距離通学者への支援の充実 【教育企画課】	遠隔地から通学する児童生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図る	[継続] ・遠距離通学費補助事業 通学距離が小学校においては片道4km、中学校においては片道6km以上の児童生徒で公共交通機関を利用して通学している者の保護者に対して、通学にかかる経費の1/2を補助した。 学校統合条件による補助を行った。 ・スクールバス運行事業 児童生徒を輸送する通学バス・タクシーの運行を委託し、遠距離通学児童生徒の通学手段の確保と、保護者の経済的負担の軽減を図った。	◎評価 【 A 】 遠距離通学や学校統合条件の児童生徒の保護者に対して、必要な支援を行った。 [今後の方向性等] 今後も継続して、通学費補助及びスクールバスの運行を行う。

事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
図書に親しむまち推進事業 【教育企画課】	幼児期から本に親しむ機会や環境を整えることで、読書意欲の向上及び読書習慣の定着を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒への図書の贈呈 市内全小中学生に、希望の図書を贈呈した。 小1,135冊、中679冊、計1,814冊 学校図書館支援員の配置 図書館支援員3人により各小中学校の巡回訪問を行い、蔵書の管理、図書室の環境整備の支援等を実施した。 <p>【数値目標】 学校図書標準冊数達成校(校) 小 H28 : 7 H32 : 8 中 H28 : 4 H32 : 4</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>全ての児童生徒へ図書贈呈を行うとともに、学校図書館支援員の配置により学校図書室の環境を整備した。また、学校図書標準冊数達成校については、数値目標を達成した。</p> <p>[今後の方向性等] 図書の贈呈をきっかけに、読書習慣の定着に繋がるよう、図書の種類や支援の内容を工夫しながら、継続的に事業を実施していく。</p> <p>【数値目標の実績】 学校図書標準冊数達成校(校) 小 H29 : 8 (対H28目標 114%) (対H32目標 100%) 中 H29 : 4 (対目標 100%)</p>
ICT(情報通信技術)機器の整備、情報教育の推進 【教育企画課】	社会の情報化の進展に対応した情報教育の推進	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育用コンピュータ整備事業 情報化社会に即した教育を推進するため、福岡小学校、仁左平小学校、御返地小学校、福岡中学校のコンピュータ教室用機器を更新し、学習環境の整備を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>小中学校のコンピュータ教室用機器を予定どおり更新し、情報教育の環境整備を行った。</p> <p>[今後の方向性等] 31年度に浄法寺小学校、浄法寺中学校のコンピュータ教室用機器の更新を行う。</p>
小中学校の適正配置に向けた取組 【教育企画課】	二戸市立小中学校適正配置基本方針に基づき、適正な配置を目指す	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年9月に御返地中学校統合検討委員会から制服等に対する補助や通学方法などについての要望書が提出され、これに対する回答を12月に行った。 その後も統合検討委員会役員会に出席するなど、協議、交渉を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>統合検討委員会との協議を進め、要望書の内容を30年度当初予算へ反映させることができた。</p> <p>[今後の方向性等] 統合に向け、スクールバスの購入や補助などを着実に実施し、平成31年3月の閉校と統合が円滑に行われるよう努める。</p>
項目	②学校施設整備の推進		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
小中学校リフレッシュ事業 【教育企画課】	施設の安全確保と長寿命化を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校施設の安全確保と長寿命化を図るため、次の工事を実施した。 中央小学校外構工事 中央小学校放送設備改修工事 中央小学校防球ネット設置工事 金田一中学校消防設備改修工事 金田一中学校プールろ過機等改修工事 金田一中学校部室棟整備工事 金田一中学校トイレ改修工事 小中学校保健室エアコン設置工事 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>児童生徒の安全な学習環境を確保するため予定どおりに工事を実施した。</p> <p>[今後の方向性等] 今後も継続的に予算を確保しながら、計画的な改修に努める。</p>

分野3 社会教育の充実

施策 (1) 教育振興運動を基盤とした教育力の向上			
項目 ①教育振興運動の推進			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各学校における家庭教育学級の開催 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	家庭・学校・地域の連携を深め、家庭・地域の教育力向上に努める	[継続] ・全実践区(12実践区)において、家庭教育に関わる幅広い内容で「家庭教育学級」を開催 【数値目標】 家庭教育学級開催数(回) H28: 46 H32: 48	◎評価 【 A 】 これまでと同様に家庭教育に活かせる様々な学びの機会の提供に努めた。 [今後の方向性等] 今後も継続し学びの機会提供に努める。 【数値目標の実績】 家庭教育学級開催数(回) H29: 延べ48回 (対H28目標 104%) (対H32目標 100%)
教育振興運動集約集会の開催 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	地域の教育課題や解決方法について共通理解を図り、教育振興運動の基本理念と運動の進め方について理解を深める	[継続] ・実践区の活動状況の発表、意見交流、教育振興運動の基本理念や全県共通課題の取り組みについての説明、発達障がいテーマとした講演を実施。市PTA研究大会との合同開催は4年目。	◎評価 【 A 】 実践区の活動成果や課題の共有、意識の高揚に努めた。集約集会参加者の満足度が95%、講演内容を実際に活用したいと考えた割合も96%と高かった。また、PTA研究大会との合同開催により関係者との連携が深まっている。 [今後の方向性等] 継続して実施し家庭・学校・地域の連携に努める。
「家庭教育の手引き」の発刊 (地域学校協働推進事業) 【生涯学習課】	家庭での学習の取組み方や望ましい生活習慣の身につけさせ方について啓発を図る	[継続] ・小学校1年生から中学校3年生までの子どもの発達段階に応じた家庭での家庭学習、生活、読書など学習環境づくりを具体的に紹介しているもので、市内の全児童生徒の保護者に配布している。 ・教育委員会ホームページへの掲載	◎評価 【 A 】 ホームページに掲載し活用しやすい環境を整えている。 [今後の方向性等] 学校や家庭での活用状況を把握し、家庭教育につながる情報提供や支援策などを検討する。 学習指導要領の改訂に対応するため、編集作業に取り組む。

事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
にのへ土曜 チャレンジ 塾事業	中学生1～2年生を対象に、郷土の歴史、文化等にふれ、楽しく体を動かすなどの機会を提供し、土曜日の教育環境充実を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 槻陰舎きぼう塾の開催日に合わせ3回実施した。(1回目9/30、2回目11/3・4、3回目12/2) ・ 参加者延べ人数：813人 ・ 対象生徒数：445人 ・ 参加実人数：412人 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容：15メニュー 1 槻陰舎きぼう塾(第3回) 2 槻陰舎きぼう塾(第4回) 3 槻陰舎きぼう塾(第5回) 4 ニュースポーツ体験(二戸体育館) 全3回実施、延べ81人参加 5 ニュースポーツ体験(浄法寺体育館) 全2回実施、延べ59人参加 6 読書(市立図書館) 全3回実施、延べ95人参加 7 読書(浄法寺かおアセンター) 全3回実施、延べ80人参加 8 九戸城跡散策 全2回実施、延べ56人参加 9 自学自習(市役所) 全3回実施、延べ210人参加 10 ジュニア料理教室(朝食の大切さ) 9/30実施、33人参加 11 ジュニア料理教室(郷土の食の宝) 11/3実施、38人参加 12 ジュニア料理教室(スポーツ栄養) 12/2実施、31人参加 13 フラダンス体験 9/30実施、5人参加 14 手話体験 11/3実施、12人参加 15 企業訪問 11/3実施、生徒11人・保護者5人参加 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各団体から協力を得て、さらに幅広く多くのメニューで実施することができた。学校の枠を越えた交流や、地域の素晴らしさを知る学習など、土曜日を活用した有意義な学びの提供となった。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>新規メニューを取り入れるなど内容を見直しながら、地域の団体や企業と連携して、生徒が楽しみながら体験し学べる機会を提供していく。</p>
【教育企画課】			
放課後子ども教室の開催(地域学校協働推進事業)	地域の施設、人材などを活用し子どもたちが安心して活動できる場を確保し日常の中で多くの人と関わり体験的・交流的活動を行う機会を提供する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内6カ所まで延べ964日開設、延べ16,277人が利用 ・ 夏休みと冬休み期間の2回、全利用者を対象にバスツアーを実施 ・ 指導者の資質向上のための研修会を1回開催 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>広く認知されており昨年度より申込者数が22人増加した。地域の方々の参画を得ながら、子どもの自主的な活動や学年を越えた交流、体験の機会提供に努めた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>地域人材を活用した幅広い体験・交流活動機会の提供に努める。</p>
【生涯学習課】			
項目	③社会教育施設を拠点とした市民が行う学習活動の支援		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
多様な学習ニーズにこたえる講座の開催	市民の生涯学習活動拠点として、市民の学習ニーズ、ライフステージに応じた講座など学習機会を提供する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報にのへによる年間事業予定の周知 ・ 広報、ポスター、チラシ等による講座や教室の周知 ・ 各年代(少年、一般、高齢者)に応じた講座や教室の実施 ・ 文化祭の実施 ・ 各種サークルへの支援 <p>【数値目標】</p> <p>市立公民館講座実施回数(回)</p> <p>H28：207</p> <p>H32：207</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>市民の学習要求の把握に努め、講座の実施回数は数値目標を達成している。休日開催を増やして参加しやすい環境に配慮した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き学習要求の把握に努めるとともに現代的課題の講座実施や休日開催を増やし、市民が受講し易い環境を整備する。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <p>市立公民館講座実施回数(回)</p> <p>H29：207 (対目標 100%)</p>
【各公民館】			

事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
社会教育団体の支援 【生涯学習課】	次世代の育成や地域課題に取り組む社会教育団体へ支援を行い、地域の社会教育活動の推進につなげる	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して活動を支援している5団体に対して補助金を交付（前年度までは6団体であったが1団体が解散） <ul style="list-style-type: none"> 二戸市PTA連合会 72千円 二戸市ユネスコ協会 45千円 浄法寺ユネスコ協会 45千円 ボーイスカウト二戸第1団 45千円 ガールスカウト岩手県第13団 45千円 活動に対する相談等への対応 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>市民による社会教育活動が促進されるよう支援に努めた。団体の活動体制充実に向け働きかけを行った。</p> <p>[今後の方向性等] 高齢化や人材不足など課題が発生しており、団体への継続支援、新規団体の育成に柔軟に対応していく。</p>
図書に親しむまち推進事業 【図書館】	幼児期から本に親しむ習慣を培い理解力を育めるよう児童図書の充実と読書を推進していく	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックスタート（10カ月児）乳児159人に絵本を贈呈し、読みきかせを実施した。（全10回） おはなしデビュー（3歳児）幼児170人に絵本を贈呈した。（全10回） <p>【数値目標】 図書貸出冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館 H28：91,800 H32：92,000 カシオペアセンター図書室 H28：6,450 H32：6,500 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>図書館ボランティアによる読み聞かせや絵本の贈呈を実施し、読書に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>図書の貸出状況では、市立図書館は数値目標を達成できたが、カシオペアセンターは前年度より貸出冊数が減少し、数値目標に届かなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 絵本の贈呈をきっかけに、親子で本に親しむ機会を提供したり、フォローアップ事業の企画や広報活動により貸出増加につながるよう努める。</p> <p>【数値目標の実績】 図書貸出冊数（冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館 H29：94,072（対H28目標 102%） （対H32目標 102%） カシオペアセンター図書室 H29：4,962（対H28目標 77%） （対H32目標 76%）
項目	④指導体制の充実		
事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
専門職員の配置 【生涯学習課】	相談等に対し適正な指導・助言ができるよう専門職員を配置し、指導体制を強化する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して社会教育主事や社会教育指導員を配置し、指導助言を行った。 社会教育主事講習を職員1人が受講し資格を取得した。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>関係機関と連携し専門職員による適切な助言、指導に努めた。また、県主催の研修会等に参加し専門職員の資質向上に努めた。</p> <p>[今後の方向性等] 社会教育行政に関わる職員、配置が義務づけられている社会教育主事の計画的な養成に努める。</p>
各種研修や大会等への社会教育関係者の参加 【生涯学習課】	社会教育事業を推進するために、社会教育行政に関わる職員等の計画的な養成、関係者の資質向上に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立生涯学習推進センターの研修を中心に県や県北教育事務所など各種研修会等へ学校関係者、社会教育・家庭教育関係者、職員等が参加した。 <p>【数値目標】 県立生涯学習推進センター研修参加者数（人）</p> <p>H28：34 H32：36</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>数値目標は達成しなかったが、県立生涯学習推進センターのほか、県北教育事務所や県社会教育連絡協議会等関係機関の研修会や大会等に参加し知識の習得や資質向上に努めた。</p> <p>[今後の方向性等] 社会情勢の変化や地域課題解決に向けて幅広い知識、資質向上が求められており広く関係者への参加を促す。</p> <p>【数値目標の実績】 県立生涯学習推進センター研修参加者数（人）</p> <p>H29：31（対H28目標 91%） （対H32目標 86%）</p>

施策 (2) 社会教育施設的环境整備			
項目 ①公民館の整備			
事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
中央公民館整備の方向性の検討 【中央公民館】	老朽化の進んだ中央公民館のあり方、整備の方向性を検討する	[継続] ・新たに設置した庁内特別組織「文教施設指定管理等検討委員会」で、他の施設とともに検討した。また、「個別施設計画」において方向が示された。	◎評価 【 C 】 内部協議にとどまり具体的な検討に至らなかった。 [今後の方向性等] 個別施設計画に沿って建替えや施設の集約化・複合化について慎重に検討を進める。
施設の計画的改修 【各公民館】	各公民館において、計画的な改修を行い適正な施設管理を行う	[継続] ・各公民館において施設修繕や設備更新を行った。 金田一コミュニティセンター消防設備修繕 大額分館体育館屋根塗替修繕 等	◎評価 【 A 】 施設修繕と老朽化した設備の更新を実施した。 [今後の方向性等] 施設利用者の安全を第一とし、要望等も考慮しながら施設修繕、設備更新をして利用しやすい環境整備に努める。
項目 ②図書館の整備			
事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
蔵書の充実 【図書館】	市民の多様化するニーズに対応し、一般図書から郷土資料まで収集整備し、生涯学習活動を支える	[継続] ・9月下旬に館内蔵書点検を実施 ・29年度受入図書3,727冊 ・除籍は3,468冊 【数値目標】 蔵書冊数(冊) ・市立図書館 H28: 96,000 H32: 97,000 ・カシオペアセンター図書室 H28: 32,000 H32: 35,000	◎評価 【 A 】 蔵書点検を実施し適正な管理に努め、前年度より259冊増加し目標値を達成した。郷土資料や図書館に必要な専門書籍のほか、市民から要望の多い書籍や児童書の充実を視点を購入している。また、寄贈された図書カード2万円を活用し、購入費と合わせて児童用(0歳から6歳向け)にまとめて貸出する本を購入した。 (次年度開始予定「えほんパック」用として32冊購入) [今後の方向性等] 二戸市教育振興基本計画の数値目標を基準に、図書の充実を図る。 【数値目標の実績】 蔵書冊数(冊) ・市立図書館 H29: 96,267 (対H28目標 100%) (対H32目標 99%) ・カシオペアセンター図書室 H29: 33,157 (対H28目標 104%) (対H32目標 95%)
施設の計画的改修 【図書館】	市民が安全で快適に利用できるよう施設の管理を行う	[継続] ・給水ポンプ交換修繕 ・ボイラー燃焼部品交換(1号機) ・ネットワークカメラ用パソコン修繕	◎評価 【 A 】 計画通り完了した。また故障した箇所については速やかに対応整備した。 [今後の方向性等] 定期的な施設点検を実施し、必要箇所については早期に対応していく。

分野4 芸術文化の振興

施策 (1) 芸術文化の振興			
項目 ①芸術文化団体・郷土芸能保存団体への活動支援			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
芸術文化団体の育成 【生涯学習課】	芸術活動への参加の機会や芸術鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体への活動補助 二戸市芸術文化協会 90千円 浄法寺芸能協会 30千円 ・市民文士劇を実施する二戸市民文士劇実行委員会への活動補助 二戸市民文士劇実行委員会 3,000千円 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>芸術文化団体へ補助金を交付し、市民の自主的な芸術文化活動を支援した。各団体では、各種大会や展示会、行事等で活動の成果を披露したほか、市民に向けた郷土文化への理解を深める講演会を開催するなど、芸術文化に触れる機会を提供した。</p> <p>[今後の方向性等] 市民が主体となった芸術文化活動への支援を継続して実施する。</p>
文化祭の開催 【生涯学習課】	市民の芸術文化活動の発表の場として、文化祭を開催する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の開催委託 1,728千円 二戸会場：二戸市芸術文化協会 浄法寺会場：浄法寺地区文化祭実行委員会 <p>【数値目標】 文化祭の入場者数(人) H28：5,000 H32：5,500</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>28年度は国体特別展示も行われたことから展示部門での入場者数が多かったが、出展者数・入場者数とも減少し数値目標に達しなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 若い世代をはじめ幅広い年代の市民が芸術文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>【数値目標の実績】 文化祭の入場者数(人) H29：4,809 (対H28目標 96%) (対H32目標 87%)</p>
郷土芸能保存団体の育成 【文化財課】	郷土芸能団体の技術的な向上と継承、活動の活性化を図る	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市指定無形民俗文化財（民俗芸能）団体17団体のうち活動をしている13団体に対し、育成補助金を交付。 (70,000円×13団体) 呑香稲荷神社神代神楽保存会 下斗米山伏神楽保存会 武内神社神楽保存会 坂本七ツ物保存会 金田一神楽保存会 上米沢鹿踊り保存会 深山神社神楽保存会 金田一大神楽保存会 駒ヶ嶺新山神楽保存会 大森大神楽保存会 杉沢えんぶり保存会 浄法寺七ツ物保存会 浄法寺鹿踊り保存会 ・文化財愛護少年団育成補助金を交付 (18,000円×1団体) 下斗米文化財愛護少年団育成会 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>団体の多くが、後継者不足の課題を抱え、財政的にも脆弱であることから、補助金の交付により活動を支援した。</p> <p>[今後の方向性等] 引き続き、財政的支援を行い、また、郷土芸能祭の開催支援などと併せて、郷土芸能について市民への周知を図りながら、後継者の確保及び保存団体の育成強化に努める。</p>

事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
二戸市郷土芸能祭の開催支援 【文化財課】	郷土芸能祭の開催を支援し、郷土芸能活動の活性化を図る	[継続] ・二戸市郷土芸能祭開催補助金の交付 二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会 250,000円 ※29年度は、二戸地区郷土芸能発表会及び北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭と併催 【数値目標】 郷土芸能祭の入場者数(人) H28 : 450 H32 : 500	◎評価 【 A 】 郷土芸能活動の活性化と市民の理解を深めることに役立っている。 二戸地区郷土芸能発表会等と併催により入場者数の数値目標は達成できた。 [今後の方向性等] 30年度は単独開催となり、入場者数の確保が課題となるが、今後とも、郷土芸能祭の開催について支援を行っていく。 【数値目標の実績】 郷土芸能祭の入場者数(人) H29 : 500 (対H28目標 111%) (対H32目標 100%)
項目	②芸術鑑賞等文化事業の充実		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
芸術鑑賞事業の実施 【生涯学習課】	優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するため、舞台や音楽などの鑑賞事業を開催	[継続] ・指定管理者の自主事業の開催 航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート、よしもとお笑いまつり、アウトリーチコンサート「JAZZ LIVE」、「つるし雛展」など計19事業 【数値目標】 開催事業入場者数(人) ※文化会館自主事業のみ H28 : 7,900 H32 : 8,000	◎評価 【 B 】 文化会館の自主事業については、昨年度と比較すると事業数も増え、プロミュージシャンのライブや地元の伝統を活かした展示会など幅広く開催し、来場者数は増加しているが、入場者数の数値目標には達しなかった。 市民文士劇などが開催され、市民が身近に芸術文化に親しむ機会が提供された。 [今後の方向性等] 子どもから大人まで幅広い市民が優れた芸術文化を鑑賞する機会や、芸術文化に親しむ機会を提供する。 【数値目標の実績】 開催事業入場者数(人) ※文化会館自主事業のみ H29 : 6,934 (対H28目標 88%) (対H32目標 87%)
項目	③文化施設の整備・充実		
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
市民文化会館リフレッシュ事業 【生涯学習課】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	[継続] ・中ホール照明更新工事 中ホールの客席照明のLED化を実施した。 ・その他、大ホール排煙口交換、電気温水器交換等の修繕を実施した。 【数値目標】 市民文化会館利用者数(人) H28 : 55,000 H32 : 55,000	◎評価 【 A 】 施設の適正な維持管理に努めた。 [今後の方向性等] 優先順位を精査しつつ、計画的な施設の改修を行っていく。 【数値目標の実績】 市民文化会館利用者数(人) H29 : 58,154 (対目標 106%)
浄法寺文化交流センター改修事業 【Jホール】	計画的な改修を行い、施設の適正な維持管理に努める	[継続] ・冷温水発生機他更新工事 【数値目標】 文化交流センター利用者数(人) H28 : 11,000 H32 : 11,000	◎評価 【 B 】 施設管理は、適正に行われたが、利用者数は数値目標をやや下回った。 [今後の方向性等] 優先順位を精査しつつ、計画的な施設の改修を行っていく。 【数値目標の実績】 文化交流センター利用者数(人) H29 : 10,278 (対目標 93%)

施策 (2) 文化財の保護と活用			
項目 ①天台寺本堂・仁王門保存修理事業の促進			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
天台寺修復事業 【文化財課】	重要文化財である天台寺の本堂・仁王門の解体修理を支援・推進する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関（国及びその外郭団体、岩手県、天台寺）との協議を行い必要な情報を共有しながら、保存修理委員会を3回開催し、速やかな事業の推進を図った。 円滑な事業推進のため補助金を交付した。 <p>【数値目標】 保存修理事業進捗率(%) H28 : 49.5 H32 : 100</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>28年度からの繰越分を含め、29年度に予定された保存修理は予定通り行われた。また、円滑な事業の推進のため、補助等の支援を行った。</p> <p>【今後の方向性等】 31年度の完成に向けて、引き続き保存修理を計画的に進めるため、必要な情報収集に努め、事業の推進が図られるよう支援等を行っていく。</p> <p>【数値目標の実績】 保存修理事業進捗率(%) H29 : 71 (対H28目標 143%) (対H32目標 71%)</p>
項目 ②史跡九戸城跡の保護と活用			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
史跡九戸城跡土地買上事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡指定地を公有化し、保存措置を講ずる	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得予定2筆のうち、1筆(934㎡)を取得。残る1筆(2,295㎡)は30年度に繰越とする。 公有地化計画総面積 189,620.23㎡に対し、完了面積 179,177.73㎡(総面積に占める割合94.5%) 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>地権者の意向により、予定通りの買上げができなかった。</p> <p>【今後の方向性等】 今後も、史跡公有化事業を推進していく。</p>
史跡九戸城跡環境整備事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の公園化	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡公園化の実現に向け、文化庁、史跡整備指導委員会の指導の下、二の丸の発掘調査を実施した。 木道、本丸南櫓階段の整備を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>九戸城跡の環境整備については予定どおり完了した。</p> <p>【今後の方向性等】 第2次整備計画に基づき、史跡整備指導委員会の指導の下、公園化に向けた整備を行っていく。</p>
史跡九戸城跡保護活用事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の保護、活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備指導委員会の開催 1回 九戸城を活かす会への補助金交付(90,000円) <p>※29年度から、ボランティアガイドの会への補助金交付の所管課は、商工観光流通課となった。</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>整備指導委員会を開催し、史跡の適切な保護、活用に努めるとともに、関係団体への支援を行った。</p> <p>【今後の方向性等】 引き続き、環境整備事業と併せて適切な保護、活用に努めたい。</p>
九戸城情報発信・活用事業 【文化財課】	国史跡九戸城跡の情報発信、活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 九戸城情報発信・活用事業 史跡九戸城跡の説明案内板の作成や誘導看板の移設、パンフレット・リーフレットの増刷を行った。 <p>[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> 九戸城エントランス広場活用事業 28年度に整備したアクセス道路の借地部分の一部を取得した。 九戸城ガイドハウスの維持管理を行った。 <p>【数値目標】 年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数) H28 : 3,500 H32 : 4,500</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>予定した事業内容は完了した。 平成29年4月に続日本100名城に認定されたこともあり、来訪者数が増加し、数値目標を達成した。</p> <p>【今後の方向性等】 引き続き、情報発信に努め、来訪者の増加に結び付けたい。</p> <p>【数値目標の実績】 年間来訪者数(人) (ボランティアガイド案内者数) H29 : 4,740 (対H28目標 135%) (対H32目標 105%)</p>

③その他文化財の保護と活用				
項目	事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	文化財保護事業	文化財等の保護・活用	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸市文化財調査委員会を2回開催した。 ・折爪岳のヒメボタルの岩手県指定文化財への指定に向けて、調査・研究について協力、支援した。 ・呑香稲荷神社大神楽についての調査を行った。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>文化財調査委員会を開催し、適切に文化財の保護、活用が図られた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>適切な、文化財の保護、活用に努める。指定候補案件については、指定に向けての調査を行っていく。</p>
	埋蔵文化財発掘調査事業	埋蔵文化財包蔵地の保護	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査事業 在府小路遺跡（福岡）の発掘調査（1件/57.13㎡） 上里遺跡（石切所）の発掘調査（2件/11㎡） 大明神平遺跡（福岡）の発掘調査（1件/1,541㎡） 天台寺跡（浄法寺）の発掘調査（2件/3,764.82㎡） ・土地区画整理区域発掘調査事業 石切所地区の上里遺跡群及び前小路遺跡の発掘調査（2件/2,851㎡） ・下水道工事区域発掘調査事業 石切所地区の穴切遺跡及び上野々遺跡の試掘調査（2件/299㎡） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>円滑に調査を実施し、予定どおり完了した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>今後も、適切な調査に努める。</p>
	埋蔵文化財保存活用事業	文化財保護の普及	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の企画、受け入れを行った。（5回 27人） ・遺跡調査報告会を開催した。（1回 49人） <p>【数値目標】 埋蔵文化財センター入館者数(人) H28 : 520 H32 : 550</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>入館者数については、昨年度より約100人減少し、数値目標には達しなかったが、体験学習の企画、受け入れ、遺跡調査報告会を開催し、文化財保護の普及が図られた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>調査報告会の開催、体験学習の企画、受け入れを行い、文化財保護を推進する。</p> <p>【数値目標の実績】 埋蔵文化財センター入館者数(人) H29 : 432（対H28目標 83%） （対H32目標 79%）</p>
	歴史・文化交流施設整備事業	天台寺と漆を中心とした、情報発信と地域住民の交流機能を併せもった施設と周辺の整備	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地候補地の土地購入検討のため、土地の鑑定評価を行った。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>29年度に予定した土地の鑑定評価は行ったが、まち再生事業におけるビジョンの策定待ちで整備に向けた具体的な検討は進んでいない。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>まち再生事業での公民連携手法の検討をふまえ、催事計画などのソフト事業の内容や、維持管理計画の検討を行う。</p>

施策 (3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承			
項目 ①歴史民俗資料の収集と研究の推進			
事業名	目的	平成29年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
民俗資料の収集・調査 【文化財課】	歴史民俗資料の収集、保存、調査	<p>[継続]</p> <p>歴史民俗資料館において、民俗資料等の収集、調査研究、各種照会への対応を行った。</p> <p>1 二戸歴史民俗資料館 ・講座「続・新にのへ物語Ⅱ」5回開催 受講者100人 ・文化祭特別展「相馬大作未公開資料展」 来場者 92人</p> <p>2 浄法寺歴史民俗資料館 ・文化祭特別展「昭和20年代のうるし産業」回顧展、「天台寺本堂保存修理工事」進捗状況写真展示 来場者 677人(文化祭会場への来場者) ・「南部藩ゆかりの地を巡る研修会」参加者31人</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 1,100 H32 : 1,100 ・浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) H28 : 700 H32 : 700 ・講座、企画展の開催(回) H28 : 8 H32 : 9 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>入館者数及び講座、企画展の開催については、数値目標を概ね達成した。 また、資料館については、民俗資料等の受け皿としての機能を果たした。</p> <p>【今後の方向性等】</p> <p>引き続き、民俗資料の収集と調査研究を行うとともに、多くの人々が資料館を活用できるよう、今後も講座や企画展を開催していく。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二戸歴史民俗資料館入場者数(人) H29 : 1,080 (対目標 98%) ・浄法寺歴史民俗資料館入場者数(人) H29 : 637 (対目標 91%) ・講座、企画展の開催(回) H29 : 19 (対H28目標 237%) (対H32目標 211%)
項目 ②歴史民俗資料館整備方針の検討			
事業名	目的	平成29年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
歴史民俗資料館の整備の検討 【文化財課】	地域の歴史、文化、民俗の各資料の展示保管施設の整備	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別施設計画を策定するにあたり、検討を行った。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>内部の協議にとどまり具体的な検討には至らなかった。</p> <p>【今後の方向性等】</p> <p>個別施設計画に沿い、建替えや施設の集約化・複合化について慎重に検討を進める。</p>
項目 ③市史編さん事業の推進			
事業名	目的	平成29年度の実績状況	評価及び今後の方向性等
史料叢書の継続発刊 【生涯学習課】	二戸市に関する史実をきちんとまとめ、後世に残し伝えるため、数多く残されている史料の調査研究をしながら二戸市史を刊行する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史料叢書第十八集 「藩政期の二戸 福岡 浄法寺Ⅰ」を発刊 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>書籍の発刊に加え、市史編さん室嘱託員が図書館主催の古文書読解講座で講師を務めるなど、歴史への興味を喚起する取組をしている。</p> <p>【今後の方向性等】</p> <p>29年度に発刊した二戸史料叢書第十八集「藩政期の二戸 福岡 浄法寺」をシリーズとして刊行を予定。</p>

分野5 スポーツの推進

施策 (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進			
項目		①生涯にわたるスポーツの推進	
事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ・交流大会・スポーツイベント・フォーラム等の開催 【生涯学習課】	子どもから高齢者まで、さまざまなライフステージでスポーツを楽しむことができる機会や地域住民のニーズに応じたスポーツ活動の環境の提供に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種大会等を開催した。 ニュースポーツ交流大会 127人 体力づくり野球大会 19チーム 体力づくりソフトバレー大会 5チーム ウォークラリー（新規） 11人 市内少年野球大会 5チーム 市内小中学校相撲大会 6校 19チーム 市内ミニバスケット大会 15チーム 市民総参加スポーツ大会 184人 ナイターバレーボール大会 8チーム 市内スキー選手権大会 27人 市民水泳大会 143人 <p>等</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>計画した各種大会を開催することにより、スポーツを楽しむ機会、スポーツ活動の環境を提供することができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、スポーツに触れ合える機会、環境整備に努める。</p>
健康スポーツ教室・出前講座 【生涯学習課】	心身の健康の保持増進やスポーツに参加するきっかけとなるような機会を提供する教室等の開催に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や体力づくり振興会等と連携し、各種教室等を開催した。 水中運動教室 18回 144人 柔道・剣道教室 88人 浄法寺地区スポーツ教室 22人 にのへ土曜チャレンジ塾（ニュースポーツ体験） 3回 140人 ニュースポーツ体験会（新規） 2回 30人 <p>等</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種教室等については、幅広い世代の人たちを対象に計画どおり開催し、スポーツに参加する機会を提供した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、心身の健康保持や増進、健康寿命を延ばすため、二戸市体育協会や関係機関との連携し、健康スポーツ教室等の開催に努める。</p>
スポーツ関連情報の提供 【生涯学習課】	各種大会の開催情報、結果情報を発信し、スポーツに対する意識の高揚と興味の増進に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会や各競技団体と連携を密にし、広報にのへやホームページを活用し、スポーツ開催情報や結果の周知を図った。（お知らせ号へ毎月掲載） 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>過去の大会結果をホームページに掲載する等、広報にのへやホームページを活用した情報提供に努めた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>広報、ホームページを活用し、迅速かつ的確に情報発信を行う。</p>
項目		②地域のスポーツ環境の整備	
事業名	目的	平成29年度の実施状況	評価及び今後の方向性等
スポーツ推進委員の研修会参加 【生涯学習課】	「スポーツを支える（育てる）人」としての研さんは不可欠であり、各種の研修会への積極的な参加を進め、資質の向上に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地区研修会、県研修会や二戸地区研修会に参加し、幅広く他地域の事例を学んだ。 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種研修会へ参加し、他地域の委員と交流するなど、様々な知見を得ることができた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努める。</p>

<p>総合型地域スポーツクラブの支援・育成</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境を充実させるため、地域住民の自主的な運営を目指す「総合型地域スポーツクラブ」の支援、育成に努める</p>	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺スポーツクラブ、氷上スポーツクラブの活動に対し、広報等での周知や実施事業に対し補助を行った。 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ数(団体) H28 : 2 H32 : 3 ・加入者数(人) H28 : 450 H32 : 500 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>新規に創設を目指す団体の発掘や新クラブ創設への支援は低調だったが、既存クラブへの支援は実施できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、既団体の支援とともに新たな団体の創設に努める。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ数(団体) H29 : 2 (対H28目標 100%) (対H32目標 67%) ・加入者数(人) H29 : 409 (対H28目標 91%) (対H32目標 82%)
<p>項目 ③スポーツを通じた健康づくりの推進</p>			
<p>事業名</p> <p>スポーツ指導者講習会の開催</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>目的</p> <p>各地域において、心身の健康の保持増進等を気軽に取り組むことができる環境を整えるため、環境を支える人材の育成に努める</p>	<p>平成29年度の実績</p> <p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会等と連携し、各種指導会等や講習会を開催した。 <p>スポーツ医・科学講座 生涯スポーツ担当者等研修会 スポーツリーダー養成講習会 等</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>各種指導会等の開催により、健康運動に関する最新の情報やスポーツの楽しさを伝える機会を提供できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努めると共に、参加者を増やす取組も検討する。</p>
<p>項目 ④ スポーツ施設の整備・充実</p>			
<p>事業名</p> <p>学校体育施設開放事業</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>目的</p> <p>多くの市民がスポーツに触れ合えるために、スポーツ施設や学校体育施設の効果的・効率的な活用を努める</p>	<p>平成29年度の実績</p> <p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の体育施設を開放することにより、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりに努めた。 <p>29年度実績 15団体 399回 4,634人</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>継続的に市民周知を実施し、利用促進に努めた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、施設の有効活用に努める。</p>
<p>事業名</p> <p>スポーツ施設の計画的改修</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>目的</p> <p>老朽化が進んでいるスポーツ施設は計画的に整備・改修を進める</p>	<p>[新規・継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大平球場バックスクリーン及びスコアボード改修工事 ・浄法寺体育館トレーニング室改修工事 ・大平球場屋外トイレ解体工事 ・大平球場整備工事（繰越明許） ・総合スポーツセンター土地購入 5筆 6254.6㎡ 	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>老朽化の状態に応じて、計画的かつ適切に改修を進めており、概ね達成できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>利用者、利用団体、指定管理者と協議を重ね、安全な施設運営に必要な整備・改修を進める。</p>
<p>事業名</p> <p>スポーツ施設整備基本構想の策定</p> <p>【生涯学習課】</p>	<p>目的</p> <p>市民が、安全に楽しくスポーツに親しめ心身の健康保持、増進を推進するとともに、全国レベルの選手の育成・強化を図る環境整備のため基本構想の策定をする</p>	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに設置した庁内特別組織「文教施設指定管理等検討委員会」で、他の施設とともに検討した。また、「個別施設計画」において方向が示された。 <p>[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーリング施設民間資金等活用事業導入可能性調査（繰越明許） 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>体育協会や一部の競技団体との協議や新たな体育施設の可能性調査を行い、内部協議、検討委員会等で検討を重ね、施設の方向性を示した個別施設計画を策定したが、基本構想の策定には至らなかった。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、利用者、利用団体等と協議を重ね、市民が安全にスポーツに取り組める施設整備についての検討に併せ、スポーツを通じた交流促進のため、新たな施設の検討を進め、基本構想を策定する。</p>

施策 (2) 競技力向上に向けた選手の育成と指導者の養成			
項目 ①選手の育成・強化と競技力の向上			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
各種スポーツ団体の育成・支援 【生涯学習課】	各種競技人口の増加と競技力の向上を図るため、学校部活動、地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等と連携に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の活動に対し、補助金等の支援を行った。 <p>いわて国体記念スポーツ交流事業補助金(8団体) 800千円 市体育協会補助金 3,000千円 市スポーツ少年団補助金 60千円 市体力づくり振興会補助金 700千円 浄法寺地区体育祭実行委員会補助金 350千円</p>	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>補助金の活用により、他地域との交流が図られ、市内競技者のレベルアップにつながったが、各種団体を育成支援する点では事務・会計体制に対し適切な指導が行われなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 補助事業の周知徹底を図り、引き続き、各種団体等に対して支援を行うと共に、健全な団体育成に努める。</p>
各種スポーツ教室の開催 【生涯学習課】		<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会や各競技団体等と連携し、各種教室等を開催した。 <p>柔道・剣道教室 88人 スキー教室 105人</p>	<p>◎評価 【 A 】</p> <p>各種教室等では、小中学生を対象に計画どおり開催し、技術等の向上につながった。</p> <p>[今後の方向性等] 競技者や各種団体の意向把握し、スポーツ教室等を開催する。</p>
「二戸市小・中学生スポーツ活動指針」に係る調査の継続 【生涯学習課】	小中学生の健全な心身の育成につながるスポーツ活動の実態把握のため調査を行う	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校、スポーツ少年団等に対しスポーツ指針の周知徹底に努めた。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>各学校、スポーツ少年団等に対しスポーツ指針周知徹底に努めたが、現状把握調査は実施しなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 二戸市小・中学生スポーツ活動指針の周知徹底と共に、現状把握調査を行い、小・中学生の健全な心身の育成に努めていただくよう指導者等の協力を仰ぐ。</p>
項目 ②トップアスリートにふれる機会の創出			
事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催 【生涯学習課】	夢や希望を育み、競技力を向上させる意識高揚を図るため、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等を開催する	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県大会レベルの大会が開催され、高いレベルの技術を見ることができたが、市主催による事業の実施には至らなかった。 	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>30年度に向けトップアスリートの講演等を企画調整したが開催には至らなかった。</p> <p>[今後の方向性等] 各種団体等と連携し、トップアスリート等によるスポーツ教室・講演会等の開催に努める。</p>

③スポーツ指導者等の養成・研修				
項目	事業名	目的	平成29年度の取組状況	評価及び今後の方向性等
	スポーツ指導者研修会の開催	スポーツ指導者等が専門能力を習得する研修会等を開催し、指導者及び審判員等の養成に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会等と連携し、各種指導会等の開催や、各種講座の受講に対する支援を行った。 <p>スポーツ医・科学講座 生涯スポーツ担当者等研修会 スポーツリーダー養成講習会 等</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ指導者数(人) H28 : 150 H32 : 160 日本体育協会公認資格取得者数(人) H28 : 50 H32 : 55 	<p>◎評価 【 B 】</p> <p>各種指導会等の開催により、スポーツに関する最新の情報や他地域の事例を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>引き続き、自主開催にあわせ、他団体の開催情報を把握し、参加者の資質向上に努めると共に、参加者を増やす取組も検討する。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市登録スポーツ指導者数(人) H29 : 145 (対H28目標 97%) (対H32目標 91%) 日本体育協会公認資格取得者数(人) H29 : 42 (対H28目標 84%) (対H32目標 76%)
	スポーツ推進委員の活動機会の拡充	スポーツに関する活動や、選手の育成や大会等の運営に積極的に参画できる環境整備に努める	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員が運営や指導に参画し各種事業を行った。 <p>ニュースポーツ交流大会 ウォークラリー 市民総参加スポーツ大会 ニュースポーツ体験会</p> <p>【数値目標】</p> <p>市スポーツ推進委員活動参加延べ人数(人) H28 : 55 H32 : 60</p>	<p>◎評価 【 C 】</p> <p>スポーツ推進委員が、運営や指導の立場で参画するイベントが減ったため、活動参加者数が減少した。</p> <p>[今後の方向性等]</p> <p>推進委員と共に新たな活動の場の検討を進めるとともに、熱意と能力がある指導者を発掘し、資質向上のための研修等を充実させる。</p> <p>【数値目標の実績】</p> <p>市スポーツ推進委員活動参加延べ人数(人) H29 : 41 (対H28目標 74%) (対H32目標 68%)</p>